

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年10月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670104076号
法人名	有限会社パッション
事業所名	グループホームパッション
所在地	鹿児島市和田1丁目16番1号 (電話) 099-269-1171
自己評価作成日	平成23年8月22日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年9月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域に近い環境の中で、何か社会貢献できないかと皆で考え、公民館で高齢者向けのグループホームの説明・健康づくり・手品・介護保険の話など開催することができた。また、地域福祉館へのボランティア依頼や福祉バザーへの参加など新しい取り組みも導入した。限られた施設という生活空間に集められたご利用者に介護のみを提供するのではなく、地域と顔なじみとなったスタッフが外に出て、認知症の方のありのままを見てもらい・理解してもらうことを目標に地域を支えあい、地域と利用者をつなぐという重要な役割を果たしたいと思う。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島市南部に位置し、近隣に病院、スーパー、学校等があり、利便性に富んだ環境のグループホームである。医療機関との連携が図られ、利用者の健康管理や重度化の際の支援体制、緊急時の協力体制が構築されている。また、職員体制も整い、ほとんどの職員が、看護師、介護福祉士、ケアマネージャーのいずれかの資格を持ち、職員の異動もなく、離職も少ないため、利用者とのなじみの関係、家族との信頼関係、職員間の連携が図られて、個別ケアや受診支援、外出支援など質の高いサービスの提供がなされている。また、職員主体の業務により、意見・提案が反映されて、自己研鑽意欲が高まり、責任感が養われ、職員全員がいつでもあらゆる場面に対応できるようにそれぞれが高い知識と技術を身につけている。

家族と共に利用者を支えていけるように、家族との「絆」を大切に、来訪時は家族も一緒に食事をしてもらうなど、可能な限り、利用者と一緒に過ごす時間が持てるように配慮している。また、年2回の家族会は毎回ほぼ全家族が出席し、家族代表を中心に充実した家族会が構築されている。「食」にも力を入れて、季節の食材をふんだんに使った手作りの栄養バランスのいい食事の提供やときには外食、食器の工夫などで食事が楽しくなるように支援している。開設7年目になり、利用者の高齢化・重度化等の課題はあるが、本人、家族の希望に添えるようにホームとして最大限の支援に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域との交流を念頭に本人の思いが実現できるよう個別ケアを行っている	地域密着型サービスとしての意義を踏まえた理念を作成している。勉強会等で理念を確認することもあり、理念の共有と実践につなげている。パンフレットや重要事項説明書にも明記してある。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会へ加入し、地域行事（運動会・文化祭など）に参加させて頂き、民生委員との交流も実施している	町内会に加入して、行事（運動会、文化祭、秋祭り、餅つき等）参加や見学、バザーに出店するなど積極的に利用者と共に地域との交流に努めている。地域のボランティア代表がホームの相談苦情解決処理の第三者委員でもあり、ボランティアの来訪も多い。また、近隣の高校の実習先として受け入れもしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	谷山地区グループホーム協会で劇団を結成し、地域高齢者の集会で披露し質問等に対応している		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回、事故・ひやりはつとの内容を報告している。ホーム・地域の問題点・情報交換などの意見を頂いている	民生委員、家族代表、行政の参加を得て2ヵ月に1回定期的に開催している。地域の情報やホームの現況報告、行事、安全対策、ヒヤリハット事例などが話し合われている。社会貢献の一環として、地域での介護教室にも講師を派遣している。	

鹿児島県 グループホームパッション 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターの担当者へ運営推進会議開催時には案内状を発送して参加のお願いをしている。近隣の独居老人が骨折し行政との連携を取りながら解決に導いた経緯もある	日頃より連携を図り、困難事例や地域の情報など協力関係を築くように努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設置し、定期的に協議・研修を行っている。各入居者の身体状況・ご家族の意向を取り入れながら、身体拘束をしないケアに取り組むよう全職員で取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を中心に毎月、安全を考慮しての話し合いが行われ、可能な限り、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。日中は施錠などせずに職員間の連携で安全で自由な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に研修を行い、全職員が共通理解できるよう、資料を回覧し全体ミーティング等で研修・報告を行うなど虐待防止の徹底に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年度初頭に勉強会の計画を立てて、権利擁護に関する制度についても機会を設けて取り組んでいる。また、各状況に応じての対応ができるようご家族・スタッフの連携を密に取るようにしている		

鹿児島県 グループホームパッション 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族・ご本人との面談を行い、入居時には契約書・退居時には説明の上書類にサインを頂いている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	1階玄関に意見箱を設置している。また、面会時に状態報告・意見等を聞き、家族会・運営推進会議にて他方からの意見も取り入れている	面会時や電話連絡の際に家族から意見、要望を聞き出すようにしている。相談苦情解決処理体制として、家族代表者、地域代表者、ボランティア代表を第三者委員として設置している。また、年2回の家族会は毎回、出席率がほぼ100%で家族代表を中心に話し合う機会になっている。毎月の定期的な報告として、ホーム便りと行事予定表を作成して送付している。利用者からは日常の会話の中で意見、要望を引き出すようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月ミーティング（2ヶ月毎に全体ミーティング）を行い、全スタッフから意見を聞き、検討・実行し次回ミーティング時に結論を出している	毎朝夕の申し送りで職員は情報の共有を徹底している。また、毎月、各フロアごとのミーティングと2ヵ月毎の全体ミーティングで提案や意見などが話し合われている。職員主体の業務を推進しており、各担当や各委員会を設置してサービスの質の向上に向けて取り組んでいる。レベルアップに向けた資格取得の支援も行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	公休・有給取得へ配慮し、勤務表を作成している。それにより、資格取得・外部研修等にも積極的に取り組める体制を整えている		

鹿児島県 グループホームパッション 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>担当をスタッフに振り分け、内部研修を開催している。外部研修の内容も偏らないように各スタッフへ振り分け参加している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>谷山地区グループホーム勉強会があり、ほぼ毎回参加しお互いの困難事例等で意見交換している</p>		

鹿児島県 グループホームパッション 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>家族とご本人の面談を実施し、その情報を基に協議しご本人が納得できるまで待つ姿勢をとっている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>その都度連絡・協議の場を持ち、要望等など聞き、信頼関係に努めている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人の要望やご家族等が必要としている内容を判断し、場合によっては協議している。また、当地区はネットワークが充実しているため、常に相談しやすい体制である</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>昔ながらの知恵を頂きながら、ご本人と共に色々な事を学びながら、安心して生活できるように努めている</p>		

鹿児島県 グループホームパッション 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の身体状況などを面会時・電話にて連絡を細かく行い協力・支援している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	気軽に来訪して頂けるような楽しい雰囲気作りに努めている。自室でゆっくりお茶を飲みながら談話して頂けるように場を提供している	個別ケアとして、本人の希望による外食や買い物、行きつけの美容院、お墓参りなどこれまでの生活を維持できるように外出支援を行って、なじみの人や場との関係継続の支援を行っている。また、友人、知人が訪ねやすいように配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の会話を傾聴しながら、会話に加わるようサポートしている。利用者同士の心身状態・性格を見極め対応している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後もその後の状況・経過等を把握し、ご本人・ご家族への支援・相談に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の方々とコミュニケーションを取りながら、ご本人の思いを表情や会話の中で探し、ご本人の希望に添えるように協議している	会話の中から思いや意向を把握し、困難な場合は表情、言動、家族や関係者からの情報などから本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やご本人より聞き取りを行い、随時把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1人1人の生活リズムを把握し、スタッフ・ご家族と情報交換しながらスタッフ全体で把握出来るように努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月、担当者がモニタリングを行っている。また、月1回スタッフミーティングを実施し、スタッフ全員で現状に応じた介護計画を作成している	なじみの生活の継続として、本人の趣味や好きな事などを取り入れている利用者やリハビリ、口腔ケアなど個々に応じた個別の介護計画を作成している。また、毎月、定期的に評価をして、見直しに活かし、現状に即した介護計画を作成している。評価は家族にも送付している。	

鹿児島県 グループホームパッション 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活の中での気づきやケアに関する実践内容を記録し、情報報告・交換し今後のケアに反映出来るよう努力している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	1人1人に対して状況に応じたサービスケアを行い、必要に応じ緊急ミーティングを行いスタッフ同士意見や情報を共有しつつ、ご本人に合ったケアを支援している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を文書している地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域での行事へ参加（運動会・文化祭等）し、地域の方々との交流を図っている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診時、ADL・近況報告を行っている。また、必要時はご家族の方へ同行して頂き、相談・現状把握等も行っている	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。緊急時の対応など協力医療機関や地域連携医療機関との協力体制が図られている。看護師も常勤しており、密な健康管理が行われている。	

鹿児島県 グループホームパッション 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師免許取得者を主体とし、主治医との連携を取っており、適切な看護を受けられる環境を整えている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>利用者が入院された際はお見舞いへ行き、状態把握をし医療機関との情報交換を蜜に行い、早期退院に努めている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>定期的にご家族と協議している。終末期においてご家族の意向を聞きながら、ご本人の気持ちに添った支援を行っている。同時に同意書を取っている</p>	<p>これまでに看取りの経験もあり、重度化や終末期に向けては本人、家族の意向や希望に応じて、主治医、家族と共にホームができる最大限の支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>避難訓練を活用している。また、緊急マニュアルを作成し、自主訓練も実施している</p>		

鹿児島県 グループホームパッション 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練時に誘導についての注意点・誘導方法等を市消防局の方にレクチャーして頂いている。緊急時に備え、近隣の病院・スタンド等への協力依頼をし、体制を整えている。</p>	<p>定期的に昼夜間想定で避難訓練を行っている。スプリンクラーも設置されており、近隣の病院等とも協力体制が構築されている。また、運営推進会議でも安全対策が話し合われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者の性格を理解・把握し、その方にあった声かけ・対応を行っている	個々に応じた声かけや否定的な会話にならないように配慮しながら対応している。定期的に勉強会を行って、職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人・ご家族とケアカンファレンスを実施し、思いや希望を活かしながらケアプランを作成している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の体調等に考慮し、個々のペースに合わせて支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に出張散髪を依頼している。また、ご家族同行にて近くの美容院へ行かれる方もいる		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	現在、介護度が重症化しているが、可能な限り・出来る範囲でお手伝いして頂いている	調理の下ごしらえなど個々の力量に応じて職員と共に行っている。「食」を楽しめるように献立や食器などを工夫している。ときには、外食にでかけることもある。	

鹿児島県 グループホームパッション 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々にあわせ摂取量を調整し、栄養バランスを考えた食事を提供している。水分摂取量を記録し、必要に応じ声かけ・補水を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、状態に応じた声かけ・介助を実施している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターン表を用いて、把握・時間をみながらトイレお誘い・パット交換を実施している	排せつパターン表の活用と職員のこまめな声かけ誘導で可能な限りトイレでの排せつを支援している。現在自立している利用者も数名いる。身体状況に応じてやむをえない場合を除いては、安全面を考慮してポータブルトイレの使用はしない方針である。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜や食物繊維を多く取り入れたり、乳製品等をご本人に応じ摂取して頂いている。状況に応じて、主治医と相談し便秘薬・下剤を処方して頂いている		

鹿児島県 グループホームパッション 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴はバイタルチェック後、週3回実施しているが、気が進まない・汚染が酷い等の際には清拭・入浴日変更・追加を行っている	希望があれば毎日の入浴も可能で、時間帯も毎朝入浴の利用者や夕方入浴の利用者など個々の希望に応じた入浴の支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活リズムに合わせて、室内の空調調整や声かけにも工夫し、ゆっくりと安心して休息して頂いている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	使用している服薬に対して理解し、服薬後の症状の変化は主治医に相談・報告も行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方のあったお手伝いをして頂いたり、レクリエーションを行っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節を感じていただける様にそうめん流し・花見等を年間行事に取り入れている。また、誕生日・父の日・母の日等では外食等を実施している	地域行事、花かごしま、動物園、ふるさと祭り、買い物ツアー、外食など外出のレクリエーションとして年間行事計画を作成して、できるだけホームに閉じこもらない生活を支援している。また、個別ケアとしての外食やお墓参り買い物などにも出かけられるように支援している。	

鹿児島県 グループホームパッション 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族様と相談した上で、ご本人様がお金を所持されている方もおられる。預かり金に対してはその都度、出納管理をしている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があれば、時間の許す限り電話使用可能である。また、FAXも活用している</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用スペースでは視覚でも四季を感じて頂ける様に活花や装飾に工夫している</p>	<p>共用スペースは広く明るく、開放感がある。台所は対面式になっているため、見守りがしやすい。トイレ、廊下も広く、車イスでも充分対応できる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>個室で対応しているが、共用スペースでは利用者同士がいつでも座って談話できるように椅子を設置している</p>		

鹿児島県 グループホームパッション 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>生活状況に応じて、ご本人様・ご家族様と協議して、必要な物を持参して頂いている。また、危険なく生活出来るように配置にも工夫している</p>	<p>入居の際に使い慣れたものやなじみの物品を持ち込んでもらえるように、家族に説明している。タンス、テレビ、ラジオ、椅子、仏具、飾り物などが持ち込まれ居心地良く過ごせる居室である。また、飼い猫と共に入居してきた利用者もいる。各居室、洗面台も備え付けられている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内部は歩行や移動の妨げにならない様に不要な物は置かない様にしている</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームパッション 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームパッション 1ユニット

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない